

2026  
May.  
VOL.12



# NEWS LETTER



## 遺伝子組み換えナタネ自生調査 ～未来の食と環境を守るために～

なのはな生協では、2014年から「遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン」と共に、鹿島港周辺で遺伝子組み換え（GM）ナタネの自生調査を続けています。日本ではGMナタネの栽培はしていませんが海外から輸入されるナタネの中にはGMナタネも含まれています。港から工場へ運ぶ途中で種がこぼれてしまうと、道路わきなどで芽を出して育つことがあります。また、ナタネは風や虫によって花粉が運ばれる植物なので、在来の植物と交雑する可能性があり、環境への影響が心配されています。

この調査は実際に地域を歩いてナタネを探し、採取したサンプルを検査することでGMナタネが広がっていないかを確認するものであり、組合員が地域の環境を守る大切な活動です。



GMナタネを発見！?

当日は「遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン」から2名、組合員5名、事務局5名で調査しました。鹿島港周辺には飼料会社が多く、輸入ナタネが落ちやすい環境にあります。今回の調査では、わずか約3キロの区間で疑わしいナタネを6検体採取しました。

### = 6検体中5検体から陽性 =

生協に戻ってからは「遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン」の原氏のレクチャーを受けながら、一人ひとりが採取した検体を検査しました。その結果、6検体中5検体からバスタ耐性（グルホシネート耐性）の反応が確認されました。また、原氏による「遺伝子操作食品とGMナタネ調査」のミニ講座もあり、理解が深まる時間となりました。調査のあとは、自生ナタネ調査活動で初めてのランチ会を開催し、なのはな生協の安全な食材を使ったおいしい料理を楽しみながら交流しました。

参加した組合員からは「こんなに身近に遺伝子組み換えナタネがあるとは思わなかった」「もっと多くの組合員に参加してほしい活動だと感じた」「現状を知らなかった自分にハッとした」など、率直な感想が寄せられました。なのはな生協は、食の安全・安心を大切にしながら、未来の子どもたちによりよい食と環境を残していくため、これからもGMナタネ自生調査を続けていきます。（事務局）

# 入 場 無 料

～つなげよう 私たちの想い To the Future!～

## なのはなメッセ 2026

in 幕張メッセ 展示ホール8 開催決定

# 2026.10.24(土)

10:00～14:00 (最終入場13:30まで)

## 交流と体験の祭典

出展業者60社以上



生産者との交流



おいしい試食販売



ワイワイワークショップ



楽しいお買い物

### 活動予定

- 5月 5日(火) ピースアクション「原爆パネル展」
- 5月 9日(土) こうざき自然塾「田植え体験」
- 5月30日(土) 大栄みみずの会「春の収穫体験」

詳細はホームページへ



発行  
なのはな生活協同組合  
編集  
なのはな編集委員会  
千葉市稲毛区長沼原町678-2  
TEL 043 (216) 7087  
FAX 043 (215) 0510  
info@nanohana-coop.or.jp

## 理事・監事研修 ～大原幽学記念館 “すてがたきは義なり”に触れる～

理事・監事研修として千葉県旭市にある「大原幽学記念館」を訪問しました。大原幽学は幕末の農村指導者であり、世界で初めて農業協同組合の原型といわれる「先祖株組合」を組織した人物です。千葉県を代表する偉人でありながら、詳しく知る機会は多くありません。今回の研修は生協の原点を見つめ直す貴重な学びとなりました。幽学は全国を歩きながら「性学（せいがく）」という道德思想を広めました。性学は、親や兄弟を大切に、家族でよく話し合い、協力し合うという生活に根ざした考え方です。長部村（現在の千葉県旭市）に移り住んでからは、貧しい村の暮らしを立て直すため、村人同士が助け合い無駄を省き、困ったときのために積立を行う仕組みをつくりました。これが先祖株組合であり、現代の生活協同組合にも通じる精神です。また、田んぼや水路の形を変える、家を田んぼの近くに移す、肥料や田植えの工夫をするなど、農業改革にも取り組みました。その結果、収穫量は大きく増え、村は領主から褒美を受けるほどになったといえます。



説明を受けている様子

研修に参加した役員からは、次のような感想が寄せられました。「助け合いの仕組みを村人と共に作り上げた幽学の姿勢は、生協の理念そのものだと感じた」「性学の“話し合う”という考え方は、組織運営にも通じる。対話を大切にしたい」「“すてがたきは義なり”という幽学の言葉に心を打たれた。正しいことを貫く姿勢を忘れないようにしたい」

今回の研修を通じ、生協が大切にしてきた「助け合い」「対話」が、歴史の中でどのように育まれてきたのかを深く理解することができました。今後は、この学びを活かし、なのはな生活協同組合の理念を次世代へつなぐ取り組みを進めていきます。（事務局）

### 第54回通常総代会に関する公告

2026年5月1日

なのはな生活協同組合 理事長 山本 靖子

先に行いました「第9回理事会」の承認を経まして下記の通り『第54回なのはな生協通常総代会』を開催します。

- 日時 2026年6月15日（月曜日）  
午前10時30分～※受付開始は10時からです。  
概ね12時の終了となります。
- 場所 船橋市民文化創造館  
（船橋フェイス6F・きららホール）船橋駅徒歩1分  
〒273-0005 千葉県船橋市本町1-3-1
- 議題 第1号議案 2025年度事業報告承認の件  
第2号議案 2026年度事業計画承認の件  
第3号議案 組合員除名の件

### 第54回通常総代会総代選挙に関する公告

2026年5月1日

なのはな生活協同組合総代選挙管理委員会 委員長 宮崎 好美

総代選挙規約に基づき総代の選挙を行ないます。

- 選挙区及び定数（別表の通り）
- 受付期間 5月4日（月曜日）午前9時から  
同月8日（金曜日）午後5時まで
- 受付方法 選挙区名、氏名、住所、班名を紙に明記し  
職員にお渡し下さい。郵送も可です（当日消印有効）

《別表》 総代選挙区及び定数

選挙区	定数
市川市・浦安市	29人
船橋市・習志野市・八千代市	23人
千葉市・市原市・東金市・茂原市・大網白里町・木更津市・袖ヶ浦市・山武市・君津市・山武郡	36人
松戸市・柏市・流山市・我孫子市・鎌ヶ谷市	22人
成田市、佐倉市・富里市・四街道市・八街市・印西市・白井市・香取市・印旛郡・香取郡	22人
東京	19人
合計	151人

## フードドライブキャンペーン



### ～もったいないをありがとうに～

フードドライブとは、ご家庭で余っている食品を持ち寄りフードバンクを通じて地域の福祉団体や施設などに寄贈する活動です。

なのはな生協では9月と2月の年2回に分けてフードドライブキャンペーンを実施しています。

ご家庭で余っている食品を配達時に回収し、生協で仕分け、フードバンクちばへお届けします。

集まった食品は、フードバンクちばから必要としている方々へと届けられます。



左：フードバンクちば 菊池代表  
右：なのはな生協 岩崎専務

### 2025年度フードドライブキャンペーン

9月 143名 226.65kg / 2月 132名 151.9kg

**合計275名 378.55kg**

2026年3月17日にフードバンクちばへお届けしました。  
組合員の皆さん、ご協力をありがとうございました。

## 私のお気に入り

### ～食卓に笑顔と美味しさを～



私のオススメ商品は、秋川牧園の秋川若鶏せせりです！せせりは鶏の首周りの筋肉でよく動かしているため弾力がありプリプリして脂ものっていて凄く美味しいです！一羽からわずかしかとれない希少部位です。私の実家鹿児島では鶏文化で有名ですが、せせりはあまり見かけないので実家に帰省する時は持参しています。なのはな生協で購入出来るからありがたい！塩胡椒でサッと焼くだけで美味しい一品、おつまみにも最高です！

（理事 山田）



秋川若鶏せせり  
200g 430円（税込464円）

\* 次回は6月2回の  
商品案内に載ります

